



コンテク

2007.1

管理者の要諦

将棋名人升田幸三氏は以下のようなことを書いています。

「ある日父親と老人が薪を割っていた。父親は力任せに「エイッ」と割るが、老人の半分も進まない。

老人は、薪の節の部分で割っていたのだ。そしてある程度の薪を割ると 腰を下ろして鉈の刃を砥石で研いでいた。」

かどる良い例です。これは、特に管理者に必要な資質でしょう。

また、さらに管理者に必要な資質として、頼まれた仕事をすぐに始めるということがあります。

すぐに仕事を始める人がいれば、ぐずぐずして催促されないし始めない人もいます。中には時間が経って忘れてしまう人もいます。

すぐやる。

必ずやる。

できるまでやる。

も仕事はかどります。

森信三さんは、仕事の期限について次のように言っています。

「100点の仕事をして期限に遅れるよりも、80点でも良いので期限に間に合わせる方がよい」

2006年が終わり、新しい年を迎えようとしています。自らの仕事の仕方を振り返って、さらなる改善を図りましょう。

準備をしっかりと 勘所を押さえていると仕事は

という言葉があります。早くやることで、仕事の依頼者

【降旗 達生】

効果的なマネジメントレビューを行うためには

信和建設株式会社 常務取締役 清水克彦

ISO 取得の理由、目的;

時代、業界の流れとして ISO 取得について勉強し、その手法(PDCA)を経営ツールに生かそうと取得に踏み切りました。

ISO 推進体制(組織、内部監査の手法等);

ISO 推進委員会(管理責任者、建築・土木各部門2名、総務・営業各部門1名で構成)を中心に、毎月1回会合を実施し、運用状況の確認、改善のための提案事項等を討議し、必要に応じ社長に伺いを立てています。内部監査については、年2回(決算月とその中間)に実施し、主に運用状況の確認を行っています。

ISO の取組み状況(システム運用状況);

取得後3年半が経過し、システムの運用はされていると思います。

マネジメントレビューを実施する際の障害や問題点;

インプットデータのとりまとめ・分析に時間がかかり、これと言った分析結果が出ていない場合があります。運用当初MR実施にあたって、時間調整がなかなかできず参加人員の確保に苦労します。また人数を集めたら集めただ、参加人数が多いと意見がまとまらない状況でした。

効果的なマネジメントレビューを行うために

自社で取組んでいる内容;

ISO 委員会の会合を通じ、毎月改善点について討議し、社長に伺いを立てなければならぬ事項についてはその都度行っているため、年2回のMRはそのとりまとめとして行っている状況です。

効果的なマネジメントレビューを行うための提案;

社内の風通しを常に良くし、コミュニケーションを図ることで効果的なMRが実施できると思います。

ISO に対して思うこと;

なかなか目立った効果が現れず、忍耐強くシステム改善を行っています。

会社概要;

所在地:愛知県瀬戸市
総合建設業
創業:昭和5年
従業員29人
(http://www11.ocn.ne.jp/shinwa-c/)
ISO9001;2003年6月登録

会計の成熟度を高めよう その3

公認会計士/ITコーディネータ 寺坂 茂利

第3回目は、管理会計についてお話しします。

会計の成熟度の高い会社とは、自社独自の管理会計を構築して、経営に役立っている会社です。管理会計によって、会社の状況を可視化(見える化)すれば、次の一手が迅速に打てるのです。では、どのようにして、管理会計を構築すれば良いのでしょうか。

会社がうまくいっているかどうかを判断するものさし(経営指標)は、業種や会社によって様々です。売上高というのは、最も分かりやすい指標ではありますが、単に全社の売上高を見ても、次の打ち手は見えてきません。商品別、得意先別、部門別、担当者別など様々な視点で売上高を分解してみると、だんだん現在の会社の状況が見えてきます。また、過去や計画と対比することで、その傾向が分かるようになり、次に何をなすべきかが見えてくるのではないのでしょうか。

まずは、自社の状況を最もよく表す経営指標を選択することです。これは経営者の仕事です。そして、経理部門はその経営指標をタイムリーに報告できるように、業務を見直します。場合によっては営業部門や生産部門の業務をも変更して、必要な情報が収集できる体制を作らねばなりません。ここで活用すべきなのがITです。ITを活用すれば細かい情報をより効率的に収集、集計、分析できます。

そして、体制が構築できたら月次のサイクルで、PDCAを回していきます。経営指標を常に意識することで、従業員のモチベーションが向上し、経営者の理想の姿(経営計画)により近づくことができます。

いかがでしたか。このシリーズは今回で終わりですが、皆さんの会社の会計の成熟度が向上することをお祈りしています。

【おわり】

情報処理技術者検定(初級シスアド試験・基本情報処理技術者試験)のご案内

試験日	平成19年4月15日(日)	
願書受付期間	郵便局窓口受付	平成19年1月15日(月) ~ 2月13日(火)
	インターネット受付	平成19年1月15日(月)午前10時 ~ 2月20日(火)午後8時
受験手数料	5,100円(税込み)	
受講票の送付	平成19年3月29日(木)発送予定	
合格発表	試験実施の約1か月後	
その他	独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センター http://www.jitec.jp/index.html	

情報処理技術者試験とは

情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」の水準がある程度以上であることを認定している国家試験です。

試験のメリット

- 1.金融機関におけるローン金利優遇
- 2.企業からの高い評価
- 3.企業の技術力をアピール
- 4.時代の変化に対応できる技術者育成
- 5.自己能力の確認
- 6.国家試験の優遇制度